公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

隊友会の新パンフレットができました。
右の２次元コードからご覧ください。

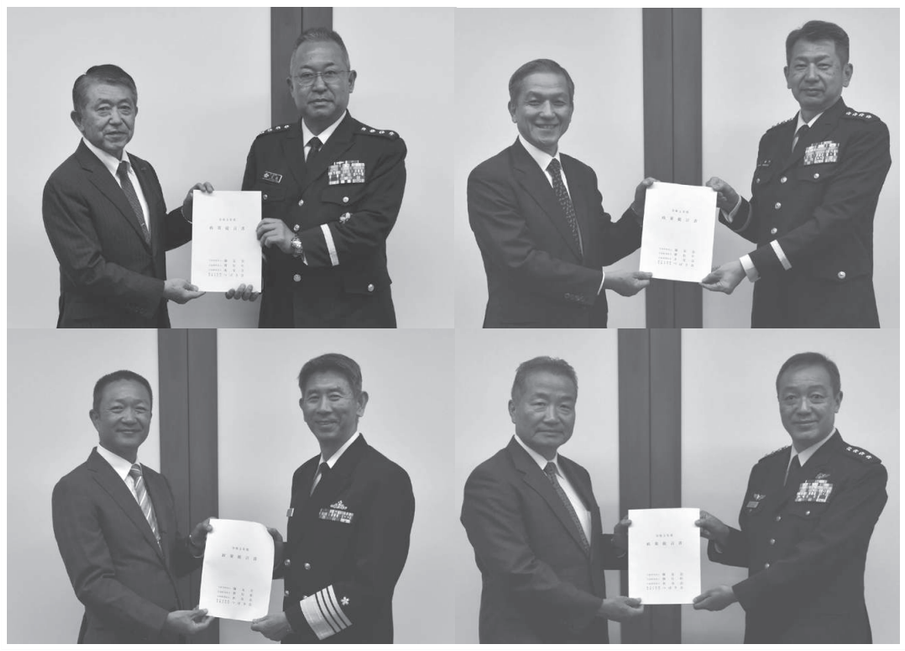
隊友

令和５年11月15日
第835号　毎月１回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03（5362）4871・FAX4876
購読料　１カ月 120円（税込み送料別）、
１カ年 1,400円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

元気のある支部
投稿募集
８面に詳細

隊友会　偕行社　水交会　つばさ会

政策提言書を４幕僚長に説明



10月25日、岩崎隊友会理事長、岩田偕行社副理事長、中畑水交会研究委員及び杉山つばさ会副会長は、空幕会議室において吉田統幕長、森下陸幕長、酒井海幕長及び内倉空幕長に対し大臣説明に先立ち実施した。

説明の後、吉田統幕長は「我々のやっていることの1歩、2歩先を記述していただき、本当に羅針盤となると思っていますので、是非とも世の中の方にも広めていただければと思います」と感想を述べた。政策提言書の概要は12月号に掲載予定。

木原大臣26柱を奉納
自衛隊殉職隊員追悼式 厳粛に挙行

令和5年度自衛隊殉職隊員追悼式が10月21日、防衛省慰霊碑地区で行われ、新たに祀られた御霊26柱（陸20柱、海5柱、空1柱）の殉職隊員の遺族をはじめ、岸田内閣総理大臣、木原防衛大臣、防衛省・自衛隊の高級幹部ら300名が参列し、警察予備隊創設以来の殉職隊員2080柱（陸1122柱、海490柱、空437柱、その他31柱）の御霊のご冥福を祈った。

国歌斉唱に続き、新たに昨年9月1日から今年8月31日までの間に公務で亡くなられた26隊員の名前が読み上げられた後、木原大臣が26柱の名簿を奉納。陸自第302保安警務中隊による特別儀仗隊が捧げ銃、陸自中央音楽隊が「国の鎮め」を演奏する中、参列者全員が拝礼、黙祷した。

追悼の辞で岸田首相は「強い覚悟をもって、職務の遂行に全身全霊を捧げた殉職隊員は、我が国の誇りです。尊い犠牲を無にすることなくご遺志を受け継ぎ、国民の命と暮らしを断固として守り抜いていく、そして、地域と世界の平和と安定に貢献するため全力を尽くすことを、改めて誓います」と決意を表明。続いて木原大臣は「幾多の方々が旺盛な責任感のもと、身の危険も顧みず、任務の完遂に努め、志半ばにしてその職に殉じられた事実を、決して忘れることがあってはなりません」と追悼の言葉を述べた。

最後に遺族を代表して、今年4月の宮古島沖での陸自ヘリの墜落事故で殉職した8師団長・故坂元雄一陸将の妻、坂元陽子様が挨拶を述べ、追悼式は終了した。

殉職隊員慰霊碑の前で追悼の辞を述べる木原大臣
（防衛省 SNS）

海賊対処行動航空隊出国

10月6日、海自八戸航空基地において、第2航空群（群司令・石川一郎海将補）を基幹として、ソマリア沖・アデン湾に派遣される第53次派遣海賊対処行動航空隊（司令・斎藤啓一郎2等海佐）の出国行事が行われた。

約60名の要員は、基地隊員、家族及び自衛隊支援団体等約300名の見送りを受け、翌7日、民航チャーター機で青森空港から出国した。出国に際し、斎藤司令は「隊員の心身の健康を保つとともに、これまで以上に高い意識をもって、任務を完遂する所存」と決意を述べた。

これに先立つ10月4日、第2航空群司令立会のもと斎藤司令に青森県隊友会（会長・堀内直樹）三八地域支部小笠原治仁支部長が任務の完遂と無事の帰国を願い、隊友会からの激励品を贈呈した。

（三八地域支部・小清水吉弘）

見送りを受ける派遣隊員

◇4月に出国した第52次派遣海賊対処行動航空隊要員は、P-3Cを現地に留め、10月15日に民間航空機で那覇基地に帰国した。

令和2年の第38次と39次の要員交代の際は、新型コロナウイルスによるジブチ入国制限と定期整備のための航空機入替タイミングの関係で、航空機のみが先に交代し、要員は2カ月程度遅れてチャーター機で出入国したという例外はあったものの、これまでは原則として要員及び航空機は約3カ月交代であった。

今回のように、航空機をジブチに残し、約6カ月の間隔で要員のみ交代するのは初めてとなる。

斎藤司令に隊友会からの激励品を贈呈する支部長

KC-767

イスラエルから邦人ら129名を空輸

10月21日未明、及び11月3日夜の2回、イスラエルから退避する邦人ら計129名を乗せたKC-767空中給油・輸送機が羽田空港に到着した。

中東情勢の緊迫により、防衛省は10月13日以降、外務大臣からの邦人輸送の準備要請を受け、空自航空支援集団司令官（森田雄博空将）を指揮官とする統合任務部隊を編成し、KC-767空中給油・輸送機1機及びC-2輸送機2機をジブチ及びヨルダンで待機させていた。

今回の邦人等空輸は、10月18日に外務大臣からの在外邦人等の輸送依頼があり、ヨルダンで待機していたKC-767が20日未明にイスラエルに移動、邦人と外国籍の家族ら83名を乗せ、ヨルダン経由で羽田に到着した。その後、再びヨルダンで待機、11月2日夜に46名が搭乗、3日夜に羽田に到着した。なお、2回の搭乗者のうち邦人は60名、外国籍の邦人家族は6名、そのほかは韓国、ベトナム及び台湾国籍の人となっている。

羽田到着後の機内で握手する隊員と避難家族
（統幕 SNS）

隊友会 寄付者芳名

滋賀県特別会員
奥村直広　様　5千円

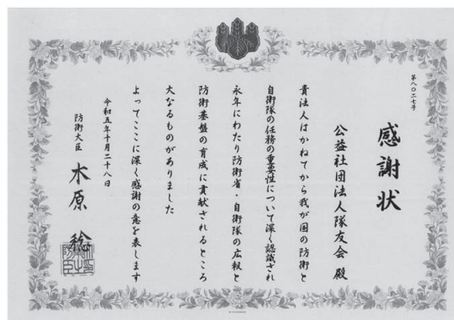
航空自衛隊
有松勝行　様　1万円
井上吉隆　様　1万円

（順不同、十月三十一日現在）

隊友会 防衛大臣から感謝状

10月28日、隊友会は、防衛省・自衛隊の広報と防衛基盤の育成に貢献した趣旨で、木原防衛大臣から感謝状を贈呈された。隊友会全体としての感謝状贈呈を受けるのは、平成5年の西元陸幕長から（カンボジア派遣隊員への支援）と、令和3年の橋本オリンピック組織委員会会長から以来で3回目となる。

贈呈式には岩崎理事長が出席した。



感謝状

公益社団法人隊友会 殿

貴団は人はかねてから我が国の防衛と自衛隊の任務の重要性について深く認識され永年にわたり防衛省・自衛隊の広報と防衛基盤の育成に貢献されるところ大なるものがありました

よってここに深く感謝の意を表します

令和五年十月二十六日

防衛大臣　木原　稔

発煙筒
山形で生きる「親父の小言」

先日、仕事で山形県にお邪魔した。その後の懇親会までの時間、ブラブラと市内を散策し、土産物でもと思い立ちお店を訪れた。そこで見慣れたラベルではあるものの、大いに違和感のあるものを見つけた。日本酒「盤城寿親父の小言」である。

「親父の小言」ファンを自称する私の頭の中は「???」となってしまった。

ここで、「親父の小言」についてご紹介をしたいと思う。今では誰もが居酒屋のトイレなどで何度も目にし、広く馴染みのある処世訓であるが、福島県の浪江町にルーツがある。浪江町にある宝刹・大聖寺の住職が45か条の小言集を綴り、家訓として掲げたのが昭和の初めころのこと。それに大聖寺の檀家の一人であった松葉屋（現マツバヤ）さんの亭主とご子息が目を付けた。45か条の中から38か条を厳選したうえ、現代風に「てにをは」を整えて商品化をしたものが、いわゆる「親父の小言」である。独特な「ひげ文字」もこの時に松葉屋さんの社員であった書道家によって書かれたもの。額装品が販売されると大いに話題を呼び、同じく浪江町の伝統工芸品であった「大堀相馬焼」の湯飲みにも「ひげ文字」を入れ大ヒットした。これが昭和の30年代のことだと言われている。その後に多くの模倣品が発売され、今ではすっかり皆さんの馴染みの福島を代表する土産物になっているのだと思っていた。だから、山形の土産物に並んでいる「親父の小言」には違和感があった。

調べてみました。まず、「親父の小言」は今では「マツバヤ」の登録商標（2012年登録）でブランド化されている。日本酒「盤城寿親父の小言」は山形の鈴木酒造さんのお酒であるが、実はこの鈴木酒造さん、もともと浪江町で商いをされていたものが、震災以降に山形に移り再建された酒屋さんだそうで、しっかり福島のお土産としても同じお酒が売られているとのこと。なるほどである。震災の爪痕は消えることなく、避難先で生活の基盤を整え、帰還されない決心をされた方々が多くいらっしゃるとお聞きした。浪江の酒も山形のコメで山形で造る。改めてあの日を思い出すとともに、新たな一歩を踏み出した方々に、勝手ながらエールを送りたくなった。

（常務執行役　鵜居正行）

引越の合見積は
隊友会へ!!
ユーザー満足度 86.4%
隊友会は、全国ネットの大手引越会社である
日本通運、サカイ引越センター、アート引越センター、
ハート引越センター、アリさんマークの引越社、
三八五引越センター、離島引越し便　から希望会社の見積を
一括して手配します!!

サービスご利用の流れ	
申　込	オンライン申込フォームまたはFAX申込書に記入して送信
見　積	依頼会社から下見の連絡（電話、メール） 依頼会社の下見（見積）に応対 依頼会社から見積書を受領（メール、文書）
引　越	契約する引越会社を決めて、契約の有無を会社に連絡 引越の実施
精　算	赴任先の会計担当部署に請求書類を提出 （3社の見積書、領収書、必要書類）

隊友会 引越　検索
公益社団法人 隊友会 引越は隊友会の3社合見積で!!
（防衛省共済組合HP）
引越しは日通
株式会社サカイ引越センター
アート引越センター
ハート引越センター
アリさんマークの引越社
三八五引越センター
離島引越し便
お問い合せ
公益社団法人 隊友会
事務局（事業課）
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電話　050-5896-4312　080-6842-8746

防衛省共済組合員および退職者の皆さまへ
MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社
防衛省団体扱
火災保険のご案内
約15%(注)割安
「防衛省職員・家族団体傷害保険」にご加入で官舎にお住いの方は、防衛省団体扱火災保険「借家賠償・修理費用特約」へのご加入をお忘れなく!!
（注）①防衛省団体扱火災保険は、大口団体割引10%に加え、団体分割払の場合は団体扱以外の契約に比べ約5%割安であること、または、団体扱一括払の場合は団体扱以外の契約に比べ約5%割安であることにより、全体で約15%割安となります。大口団体割引は、団体全体のお引受実績に応じて毎年1月1日に見直されます。
②団体扱火災保険にご加入できる方は、防衛省共済組合員・定年退職者（勧奨退職者・応募認定退職者を含む）です。
今すぐWEBでお見積りをご請求ください
WEB見積依頼（無料）はコチラ➡
ご都合の良い時にいつでもお申込みいただけます!!
WEBが便利でおススメ!
「防衛省お客さまデスク」
0120-929-417【無料】
受付時間…平日9：00～17：00／土日祝：休
（引受保険会社）三井住友海上火災保険株式会社
お得に、補償を充実させることができます!
官舎へのご入居前、持ち家ご購入の際、ご自宅の火災保険が満期を迎える前など、ご検討ください!!